

平成 26 年度 第 10 回

宍粟市教育委員会

会 議 録

(要点筆記)

日時 平成 27 年 2 月 16 日 午後 4 時から

場所 宍粟市役所 401 会議室

第10回（定例）宍粟市教育委員会会議録

1 開会・閉会の年月日時及び場所

平成27年2月16日（月） 午後4時00分 ～ 午後6時10分

兵庫県宍粟市山崎町中広瀬133番地6

宍粟市役所 401会議室

2 会議に出席した者の職氏名

教育委員

杉本健三	委員長	金本一二	委員
弓削ルリコ	委員	田中真人	委員
西岡章寿	委員(教育長)		

事務局

岡崎悦也	教育部長	楳谷米男	教育部次長
澤田志保	教育総務課長	志水良和	学校教育課長
田村純司	こども未来課長	田路正幸	社会教育課長
清水敬司	山崎給食センター所長	橋本 徹	教育総務課副課長
垣内 章	歴史資料館長		

3 開会

杉本委員長が開会した。

4 会議の成立宣言

出席者数5名となり、杉本委員長が会議の成立を宣言した。

5 会議録署名委員の指名

(1) 署名委員は、杉本委員長の指名により、次のとおり決定された。

田中委員

6 前回会議録の承認

第9回（定例）宍粟市教育委員会会議録の承認に関する件

前回の定例教育委員会における協議事項、報告事項の会議録について、教育総務課 澤田課長が説明し、承認された。

7 教育長報告

次の1点について西岡教育長が報告した。

学校規模適性化・幼保一元化等推進状況について

波賀中学校区学校規模適正化については、平成 24 年 7 月から地域の委員会で適正化の方向性を協議いただき、平成 25 年 6 月から協議会で具体的な新校設置に向けた協議をいただけてきましたが、明日、2 月 17 日の第 9 回協議会で最終の協議を迎える運びとなり、3 月議会で学校設置条例の一部を改正する条例案について後ほど提案予定である。

一宮北中学校区学校規模適正化については、第 7 回協議会が 2 月 2 日に開催され、新校の校名が「一宮北小学校」に決まった。また、これまでの協議では同一敷地内で建設する新校舎については、中学生が入ることになっていたが、プール等の用地について新たな土地の提供等があり、慎重に協議をいただいた結果、新校舎には小学生が入ることの修正を承認いただいた、なお、教室等の配置については現在検討中である。

千種中学校区幼保一元化については、平成 21 年 8 月の幼保一元化計画に基づき、進めてまいりました。平成 25 年 1 月に地域の委員会で方向性を決定いただき、平成 25 年 5 月には運営主体が決まった。平成 25 年 8 月からは協議会を設置して協議をしていただいたが、2 月 12 日の第 12 回協議会を持ちまして最終の協議を終えることができた。

このことにより、運営主体である「社会福祉法人 千種杉の子会」が県への届出を今月中に行う予定とされており、4 月からは宍粟市第 1 号の認定こども園となる予定である。なお、名称については、「ちくさ杉の子こども園」に決定しており、また、千種幼稚園の閉園式については 3 月 21 日土曜日に決定させていただいている。

8 議事

議事に入る前に、第 23 号議案から第 25 号議案までは、地方自治法第 149 条の規定に基づき、地方公共団体の長が担任すべき事務で議会の議決を経るべき事件の案件で、議会提案前の内容となっており、また、第 26 号議案と第 27 号議案は、地方教育行政の組織及び運営に関する法律第 29 条の規定に基づき、地方公共団体の長が議会の議決を経るべき事件の議案作成において教育委員会の意見を聞くもので、議会提案前の内容となっており、第 28 号議案も議会提案前の内容となっており地方公共団体の意思形成過程、意思形成の中立性の観点から非公開にしたいと委員長が説明し、審議の結果、全員「異議なし」とし、第 23 号議案から第 28 号議案までは協議報告事項終了後の非公開審議が決定された。

第20号議案 平成27年度「宍粟の教育」について

平成 27 年度の宍粟市の教育を実施するにあたり、教育方針を定める必要があるため、平成 27 年度「宍粟の教育」の作成について、澤田教育総務課長、志水学校教育課長、田村こども未来課長、田路社会教育課長が説明した。

審議の結果、全員「異議なし」とし決定された。

第21号議案 一宮北中学校区における学校運営協議会の設置について

一宮北中学校区コミュニティスクール推進委員会において、平成 25 年度から 2 年間文部科学省「コミュニティスクール推進事業」研究指定を受け、小中一貫教育の推進等様々な研究実践を行ってきた結果、学校運営協議会設置への機運と準備態勢が整ったことから、市立一宮北中学校、市立下三方小学校、市立三方小学校、市立繁盛小学校において、平成 27 年 4 月 1 日から平成 29

年 3 月 31 日の期間、学校運営協議会の設置を行う学校指定を行おうとするものであることを志水学校教育課長が説明した。

審議の結果、全員「異議なし」とし決定された。

第22号議案 宍粟市文化財審議委員会への諮問について

宍粟市指定有形文化財の指定のために、宍粟市文化財保護条例第 28 条の規定により、栗屋山下家関係文書 10 点、西千草屋平瀬正雄家文書 3 点、山崎八幡神社文書 9 点について、あらかじめ宍粟市文化財審議委員会へ諮問しようとするものであることを垣内歴史資料館長が説明した。

審議の結果、全員「異議なし」とし決定された。

委員の主な意見及び事務局の説明

(田中委員)

「宍粟の教育」(学校教育)の安全・安心の学校づくりの項目に記載がある、情報機器であるしーたん通信の現在普及率と緊急メールシステムについて、どのように運用しているのか教えていただきたい。また、緊急メールシステムが万全な機能を有していないことがあれば、今後の対策を教えていただきたい。

(学校教育課長)

しーたん通信は、宍粟市北部地区ではかなりの普及率で加入いただいております、各学校園所において有効な連絡手段として活用しているが、市南部地区では 50%を切る普及率とも聞いており、情報伝達のシステムとして保護者のメールアドレスを事前に登録して発信する緊急メールシステムにより情報を伝達している。ただ、大規模学校では発信メール数が緊急メールシステムの容量を超えているため、複数に分けてメールを発信している状況にあり、新年度に予算化し、緊急メールシステムの改善を予定している。

(金本委員)

「宍粟の教育」(学校教育)の教師力を高める学校づくりの項目に記載ある、宍粟市教育研修所の機能強化について、具体的な強化策を教えていただきたい。また、教職員の心のケアなど精神的な面も含め、いろいろな面で研修所の体制づくりも含めて検討いただきたい。

(学校教育課長)

教員に対する講演会や研修会は、その時節において一番課題と思われるものをテーマとして開催するなど、研修所機能の充実を考えている。また 26 年度までは波賀市民局 2 階に教育研修所を設置していたが、27 年度のできるだけ早い時期から野原小学校跡地に研修所を移転するとともに、移転に併せて教員研修用の I C T 施設なども設置し、実務的な研修機能の強化を考えている。また、メンタル面での研修の視点も含めて今後検討したいと思っている。

(弓削委員)

「宍粟の教育」(学校教育)の宍粟に生き、宍粟を活かす人づくりの項目に記載ある、宍粟の未来につながるキャリア教育の推進とは、どのようなことを考えておられるか教えていただきたい。

(学校教育課長)

キャリア教育とは、計画立案力、粘り強くやりきる力、自己を振り返りつつ向上していこうとする力など、大人になった時に自立していく力を養っていく教育のことをいい、幼小中のすべての年代にわたり、その年代に応じてその力をつけるため、校内研究会における中心テーマにするなど取組みを進めており、来年度はさらに具体的に進めたいと考えている。

(金本委員)

「宍粟の教育」の社会教育に関連することと思うが、市でも様々な施策が展開されている少子化対策について、市全体でその意識が高まり広がっていくような取組みを社会教育の視点において検討を願いたい。

(社会教育課長)

少子化対策につながる具体的な取組みは「宍粟の教育」に盛り込んではいないが、青少年の健全育成、地域で子どもを育む活動等の分野において検討していきたいと考えている。

(委員長)

「宍粟の教育」(学校教育)の教師力を高める学校づくりの項目に関連するが、役職に応じて任命される主幹教諭、栄養教諭について、その役割が充分果たされるよう、役職に応じて自覚を高めていくような研修を進めていただきたい。また、県では、かなり前から主幹教諭の全校配置の方針をとっており、市でも早い対応をお願いしたい。

(学校教育課長)

市では、学校規模適性化の背景もあり、現在は主幹教諭の全校配置となっていないが、平成28年度には全ての学校に配置したいと考えている。また、主幹教諭だけでなく栄養教諭とも、学校運営に直接間接に関わる重要なポジションと考え、役職に相応の研修会も実施したいと考えている。

(田中委員)

千種、波賀では以前からコミュニティスクールに取り組んでおり、その成果を教えていただきたい。

(学校教育課長)

コミュニティスクールだよりという広報発行等もあり、地域の方を巻き込んだ形で、小中一貫教育の推進、理解、協力が広がっていると感じている。

(委員長)

県内において、他市町のコミュニティスクールの取組み状況を教えていただきたい。

(学校教育課長)

ここ2年ぐらいで取組む校区も増えてきており、近隣では、赤穂郡上郡町、赤穂市、朝来市が取組んでいる。

(委員長)

市は、中学校区における複数の小中学校を単位としてコミュニティスクール推進事業に取り組

んでおり、各学校が連携して大きな取組成果があがる一方で、個々の課題や特色が見えにくいということもある。その地域の伝統や特徴が、地域の皆さんの意見を得て反映できるような仕組み作りを事務局には対応お願いしながら、一宮北中学校区における学校運営協議会の設置をお願いしたい。

(学校教育課長)

一宮北中学校区における学校運営協議会の設置にあたり、地域の伝統や特徴、地域の皆さんの意見が反映できるような取組みを進めていく。

(委員長)

今回の宍粟市指定有形文化財が指定された後、その指定文化財はどこに寄託されることになり、その展示等の予定場所を教えてください。また先日、市立図書館 2 階の資料館を見学訪問したが、訪問前の 3 日間ほどは入場者が無い様子であった。郷土が誇れる良い所蔵品も展示されており、広く市民に知っていただくよう広報啓発活動に力をいれていただきたい。そして、市立図書館利用者は、固定した方の利用が多いように感じる。良い資料も有るので市民に図書館利用の啓発広報をお願いしたい。

(歴史資料館長)

寄託場所は、一宮町三方町の歴史民俗資料館とし、指定品の状態が良ければ展示場所は山崎郷土資料館を予定している。27 年度は、宍粟藩立藩 400 年の事業に合わせて、歴史民俗資料館と本丸跡にある民俗資料館の管理運営について手立てを講じ、広報活動とともに来館者の増と館の充実向上に努めたいと考えている。

(社会教育課長)

図書館の利用拡大を図るため、広報活動に努めます。

9 協議報告事項

(1) 学校規模適正化・幼保一元化等推進の状況について

資料1「学校規模適正化・幼保一元化推進の状況」により、学校規模適正化については、教育総務課 澤田課長、幼保一元化については、こども未来課 田村課長が報告した。

(2) 全国体力・運動能力調査の結果公表について

資料2「平成26年度 全国体力・運動能力、運動習慣等調査結果」により、学校教育課 志水課長が報告した。

(3) 公私連携・幼保連携認定こども園の運営に係る協定について

資料3「公私連携幼保連携型認定こども園千種認定こども園(仮称)の設置に関する協定書(案)」
「公私連携幼保連携型認定こども園千種認定こども園(仮称)の運営に関する協定書(案)」により、こども未来課 田村課長が報告した。

(4) 市指定文化財の県指定文化財への昇格について

市内個人所蔵の絵画3件(4点)の県指定文化財への昇格予定について歴史資料館 垣内館長が

報告した。

(5) 県指定文化財「安積のカヤの古木」について

一宮町内安積地区で実施される国土交通省河川工事区域内にある県指定文化財への対応について歴史資料館 垣内館長が報告した。

(6) 学校給食費の見直しについて

学校給食費の見直しが検討中であることを教育部長、学校給食センター 清水所長が報告した。

(7) 教育委員会制度の改正について

資料別冊「地方教育行政の組織及び運営に関する法律の一部を介せする法律（概要）」により、教育総務課 澤田課長が報告した。

(8) その他の日程等報告

西人教指定 人権教育実践発表会について、資料4「人権教育実践発表会（社会教育の部・本発表）のご案内」により、市制10周年記念 第10回宍粟市さつきマラソン大会について、資料5「第10回 宍粟市さつきマラソン大会開催要項」により、社会教育課 田路課長が報告した。

平成26年度卒業（卒園）式、平成27年度入学式について、資料6「平成26年度 卒業式日時及び出席者一覧表」「平成26年度 卒園式日時及び出席者一覧表」により、学校教育課 志水課長が報告した。

波賀・野原・道谷小学校閉校式、千種幼稚園閉園式について、資料7「小学校閉校式について」「宍粟市立千種幼稚園閉園式次第（案）」により、教育総務課 澤田課長が報告した。

2月14日予定の宍粟市食育展が、大雪警報発令のため中止となったことを、学校給食センター 清水所長が報告した。

委員の主な意見及び事務局の説明

（田中委員）

伊水・都多地区の幼保一元化の進捗状況を教えていただきたい

（教育総務課長）

伊水・都多校区の地域委員会は学校規模適性化と幼保一元化の両方の協議をする委員会組織であり、今は規模適性化に関する協議が主になっている。幼保一元化について議論を深めてもらうにはもう少し説明していく必要も感じ取っており、今後、幼保一元化の協議を進めていこうという段階といえる。

（金本委員）

千種認定こども園については、千種幼保一元化協議会が終了したこともあり、県の認可後は千種杉の子会が主体となって開設の準備を進めるのか、教育委員会の関わりはどうか等、教えていただきたい。また、あと1カ月で開園だが、人員の配置、開園式、事務所のことなど、わかれば早めに教えていただきたい。

(こども未来課長)

こども園開設準備は千種杉の子会が中心となるが、協定書にもあるように、教育委員会は千種杉の子会と連携をとり、その準備を進めていくとともに、開設後も運営協議会で教育の内容も検証していく予定である。

(教育部長)

宍粟で初めてのこども園であり、千種では保幼小中の連携もある。開園に向けた準備として、千種小学校長に依頼して、現在の杉の子保育園、千種幼稚園、千種小学校の行事の細かな調整や、保育園と幼稚園が協力して研修のあり方等を検討している。

(委員長)

認定こども園の施設完成までの間、4月から別々の施設を利用して開設するからこそ、教育委員会は指導とともに、保育、教育をはじめとするこども園の運営状況をしっかり見守っていく必要もあり、今後の予定を教えてください。

(教育部長)

教育員会事務局も一緒になって、新しいこども園がより良い中身となるようともに開園準備を進め、開園後もきちんと指導を行っていきたいと考えている。

(委員長)

全国体力・運動能力調査の結果において、中学2年生女子の体力が、小学5年生と比較してではあるが、相対的に低下しているように思うので、しっかり分析して体力向上につなげてもらいたい。

(学校教育課長)

調査結果を学校現場とも共有し、体育授業も含めた学校教育全体の中で、個々の状況の確認しながら体力向上につなげていきたいと思っている。

(田中委員)

こども園設置に関する協定書(案)では、名称が千種認定こども園(仮称)となっているが、正式名称を教えてください。

(こども未来課長)

教育委員会資料作成時は、千種幼保一元化協議会の承認前資料作成であったため、千種認定こども園(仮称)となっているが、一元化協議会で名称の承認決定も先日いただき、正式名称は、ちくさ杉の子こども園となった。

(委員長)

県指定文化財である「安積のカヤの古木」(一宮町安積)が、工事の影響を受け古木を傷めることがないように工法に変更されたのか。

(歴史資料館長)

一宮町安積地内における揖保川の河川工事が古木周辺まで進んではいたが、県との協議もあり、工事の内容を変更いただき古木を傷めない工法に変更となった。

(委員長)

教育委員会制度の改正により、すべての地方公共団体に設置予定の総合教育会議は、4月1日以降、スタートすると理解してよろしいか。

(教育総務課長)

そのようにご理解をいただきたい。

(教育部長)

総合教育会議で首長と協議・調整は行うが、教育委員会は引き続き執行機関であり、最終的な執行権限は教育委員会に留保されている。

10 次回会議の招集について

平成27年3月16日（月）午後4時30分から、第11回宍粟市教育委員会を宍粟市役所で開催すると決定した。

11 閉会

金本委員が閉会した。

以上 午後6時10分終了